211号 平成14年(2002年)7月30日発行 ふちゅう 市議会だより

学童クラブの待機児 どのように対応していくか

新たな施設建設ではなく 既存の社会資源を活用していく

服部 ひとみ議員 近年、マンション建設などによる人口増加や、共働き世帯の急増で、子を持つ親から学童保育の充実や改善を求める声が強まっている。

また、昨年、学童クラブに待機児がでて空き教室で対処した。今後、長期的見通しに立った施設改善等を含め、このような事態にどう対応していく考えか。

子育て支援本部長 待機児が発生したときの対応については、学校内への増設や空き教室の活用等、新たな施設建設の方法ではなく、今ある社会資源を有効に活用する考えで進めていく。良好な教育環境を阻害しない範囲で、今後も教育委員会と協議していきたい。

議員 本年、「府中市の学童保育の障害児学年延長を求める陳情」が採択された。障害児の学年延長の実施について、どう準備しているか。

市長 現在、検討会で育成内容や体制等を検討している。その結果を踏まえ、受入れ条件や定員枠を定め対応していく。

他 介護保険見直しにあたり必要なサービスが受けられる制度の確立のために

▲新町学童クラブ

常任委員会から審査報告

総務委員会

第46号議案 府中市市税条例の一部を改正する条例

本議案の提案趣旨は、地方税法の一部改正に伴い、所要の改正を行なうもの。

今回の主な改正点は、個人市民税の課税の特例として、上場特定株式等が長期所有上場特定株式である場合、譲渡益が100万円まで非課税とする規定の適用期限を平成17年12月31日まで延長するものである。

質疑に対して、今回の改正は、個人投資家をふやし、経済を活性化させるための国の政策が背景となっているなどの答弁があった。

審査の結果、厳しい経済情勢の中、政府が展開している施策に基づくもので賛成するとの意見と、一方、高額所得者に対する優遇制度であり、不公平税制であるので賛成できないとの意見があった。

採決の結果、賛成多数により、原案のとおり可決すべきものと決定した。

文教経済委員会

第48号議案 府中市市民会館条例等の一部を改正する条例

本議案の提案趣旨は、市民に身近な施設について、年末年始の開館(園)日を増やすことにより市民サービスの向上を図るため、所要の改正を行なうもの。

ルミエール府中等の施設における、年末年始の休館、休園日を、現状の12月28日から翌年1月4日までとしていたところを、12月29日から翌年1月3日までとするため、関係する府中市市民会館条例、府中市立福祉会館条例等の一部を改正するものである。

質疑に対し、市職員の休日は12月29日から翌年1月3日であり、従来から12月28日と1月4日は勤務していることから労働条件の変更はないとの答弁があった。

審査の結果、事務事業の見直しをしながら、これまでのことを反省し改善することはよいことであるが、市民に十分に説明することを要望し、賛成するとの意見があった。

本案については、全員異議なく、原案のとおり可決すべきものと決定した。

厚生委員会

第49号議案 府中市立心身障害者福祉センター条例等の一部を改正する条例

本議案の提案趣旨は、市民に身近な施設について、年末年始の開館日を増やすことにより市民サービスの向上を図るため、所要の改正を行なうもの。

府中市立心身障害者福祉センター等の施設における、年末年始の休館日を、現状の12月28日から翌年1月4日までであるところを、12月29日から翌年1月3日までとするため、関係する府中市立心身障害者福祉センター条例、府中市立学童クラブ条例及び府中市立ふれあい会館条例の一部を改正するものである。

審査の結果、市民サービスを大いに図ったと理解し賛成するとの意見や、学童保育の場合、準備を十分して、子供たちの安全を確認してもらうよう要望し賛成する等の意見があった。

本案については、全員異議なく、原案のとおり可決すべきものと決定した。

建設環境委員会

陳情第8号 長谷工コーポレーションによる(仮称)府中東芝計画にかかわる陳情

この陳情は、「旧東芝府中野球場跡地の大規模マンション建設計画について、地域の居住地とマッチした計画になるよう行政指導を求める」というものである。

質疑に対し、建築確認申請は6月10日、指定確認検査機関で受け付けたことを確認している。市は建築主側に、住民と話し合うよう要請しており、今後とも継続して行うよう伝えたい等の答弁があった。

審査の結果、まだ建築確認がおりていない段階であり、市には指導や話合いを求め努力する機会が残っているため、継続審査にすべきとの意見や、一方、用途地域の見直しについては、市側の指導について引き続き努力してもらい、企業側と住民が共存共栄していくまちづくりをお願いしたい。また、今後、市全体のまちづくりに対応する条例化を進めることを要望し採択されたい等の意見があった。

そこで、継続審査について諮られ、賛成少数で否決となり、次に、採択について諮られ、全員異議なく採択すべきものと決定した。

特別委員会から中間報告

基地対策特別委員会

6月12日、委員会を開催し、現況報告を受けた。

基地跡地留保地の利用計画調査については、現状では利用計画を持ち合わせていないため、今後も引き続き留保地として残すよう東京都及び財務省に強く要望した。

また、基地跡地における国立医薬品食品衛生研究所の移転位置・時期は、現在、決定していない。国立医薬品食品衛生研究所については、年1回、施設などを一般公開している。今年は7月26日を予定しており、市広報で周知していきたい。

次に、榊原記念病院の差額ベッドの考え方は、個室のみを対象にしたいとのことで、基本的に4床室である市民用ベッドは対象にならない等の報告を受け、これを了承した。

再開発対策特別委員会

6月13日、委員会を開催し、現況報告を受けた。

府中駅南口A地区では、「地権者の会」を設立し、準備組合設立に向けて活動を進めていく。

次に、府中駅南口第三地区市街地再開発組合では、組合とヴァージンシネマズジャパン(株)等との間で、7月中に予約契約を締結する予定である。

既存建築物の除却工事及び埋蔵文化財の発掘調査を進めており、平成17年2月の完成、3月オープンを目指し進めていく。

また、施設建築物の新築工事については、起工式を8月下旬に執り行い、10月初旬の本格的な工事着手を目指していきたい等の報告を受け、これを了承した。

鉄道対策特別委員会

6月14日、委員会を開催し、現況報告を受けた。

西府土地区画整理組合準備会では、4月に総会を開催し、予決算等について承認・可決した。

今後、地権者説明会を6月中に行い、7月には事前協議を申し入れ、9月に土地区画整理組合設立の認可申請を目指す方針を決定した。

なお、認可申請には、未同意者の半数以上の方が協力したいと言っている。総会には委任状を含め57名の地権者が出席したが、地権者の同意数は、3月議会で報告した内容に変化はない。

また、新駅設置について、組合が設置されればJR側としても具体的な協議に入る等の報告を受け、これを了承した。